

講義名称	思想	担当教員名	福田 肇
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	思想 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM161

授業のキーワード	ヨーロッパ思想 他者 哲学 精神分析 倫理
授業の概要	「他者」とは、あなたの隣にいるひと、周囲にいるひとです。しかし、他者とはどのように現れるのでしょうか？そしてまた他者との倫理的な共存とは何でしょうか？ヨーロッパ思想を参考に「他者」の問題を考えます。
期待される学習成果（目標）	(1) 先入観や常識から「考える力」を解き放ち、ものごとを丁寧に見る力がつきます。 (2) 「他者」の問題はヨーロッパ思想のひとつの重要な問題です。それについて有益な教養を身につけることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	講義の進め方。授業デモンストレーション。	講義の進め方や評価の仕方、および模擬授業を行います。
2	どういう現れを「他者」と呼ぶのか？①	ドイツの哲学者フッサールは「他者」とともに生きる世界をどう考えたのでしょうか。
3	どういう現れを「他者」と呼ぶのか？②	20世紀のフランスの哲学者サルトルの「まなざし」という問題を考えましょう。
4	どういう現れを「他者」と呼ぶのか？③	フランスの哲学者メルロー＝ポンティの身体論の観点から「他者」を見てみましょう。
5	どういう現れを「他者」と呼ぶのか？④	フランスの精神分析学者ラカンが提起する「3人の囚人」のゲームを解いてみましょう。
6	どういう現れを「他者」と呼ぶのか？⑤	フランスのユダヤ人哲学者レヴィナスの他者論を考えてみましょう。
7	どういう現れを「他者」と呼ぶのか？⑥	オーストリアの精神分析家フロイトは、他者をどう考えたのでしょうか？
8	他者と倫理的問題に関する思考実験①	トマス・ネーゲルの「便器のクモ」という倫理問題を考察します。
9	他者と倫理的問題に関する思考実験②	マイケル・サンデルのハーバード講義で有名になったトロッコ問題を考えてみましょう。
10	他者と倫理的問題に関する思考実験③	環境倫理という文脈で、「未来世代」という他者を考えてみましょう。
11	他者と倫理的問題に関する思考実験④	有名な「救命ボート」の思考実験と、格差社会について考えましょう。
12	事例研究①	実際に起こった事件を、哲学者の思想をたよりに考え直してみます。エホバの証人と輸血事件。
13	事例研究②	実際に起こった事件を、哲学者の思想をたよりに考え直してみます。企業不正問題。
14	事例研究③	実際に起こった事件を、哲学者の思想をたよりに考え直してみます。医療倫理問題。
15	他者とはなんであるのか。まとめ。	本講義をまとめます。あなたは他者や社会とどのようにつきあっていくのか？

定期試験	講義で学んだ内容について、記述式(100点満点)で行います。
授業時間外学習	毎回、ミニテストをします。また、授業で映写した資料をPDF化して、GoogleClassroomで配信します。もう一度見て復習をしてください。
評価方法	課題（毎回課します）20%、定期試験80%。また授業の参加度（発言、質問など）も評価に加味します。
使用する教科書（必ず購入してください）	必要とあればプリントを配布します。授業はスライドで行います。
参考文献	岡本裕一郎「世界を知るための哲学的思考実験」（朝日新聞出版）。マイケル・サンデル「これからの正義の話をしよう」（早川書房）